



Keio University

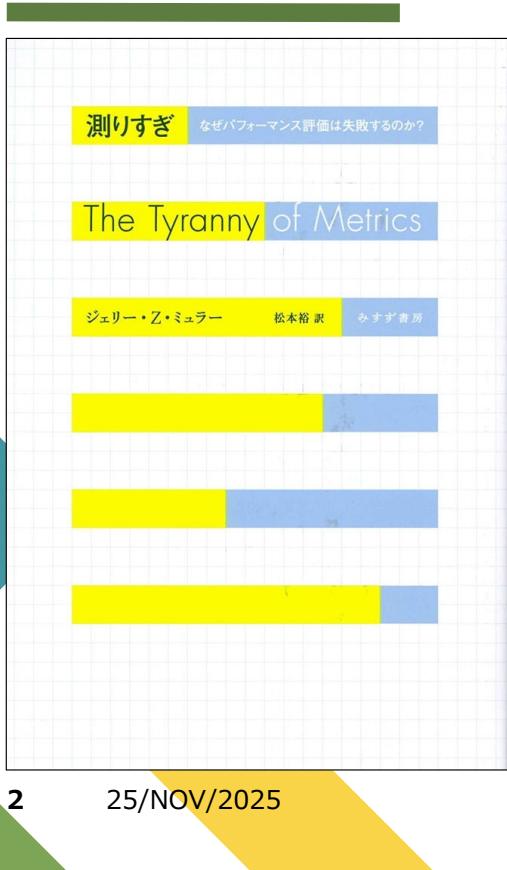


1858
CALAMVS GLADIO FORTIOR

問題意識

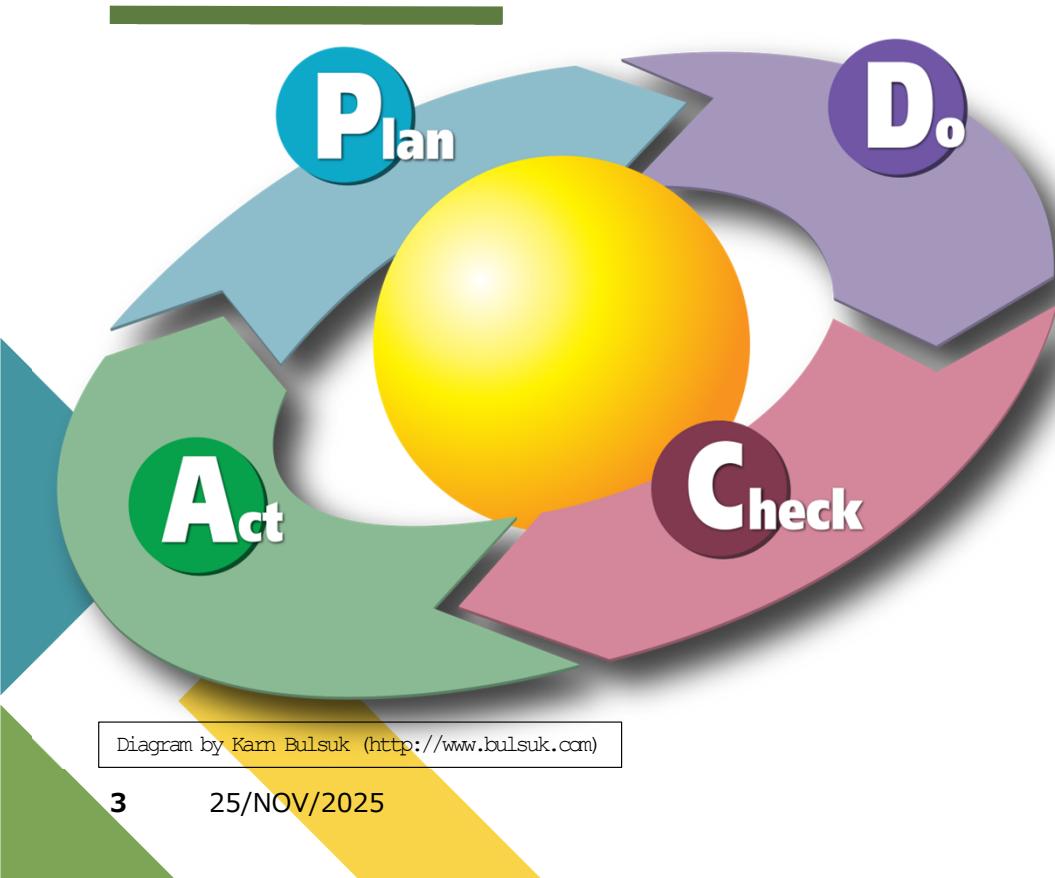
慶應義塾大学法学部
大屋雄裕

『測りすぎ』



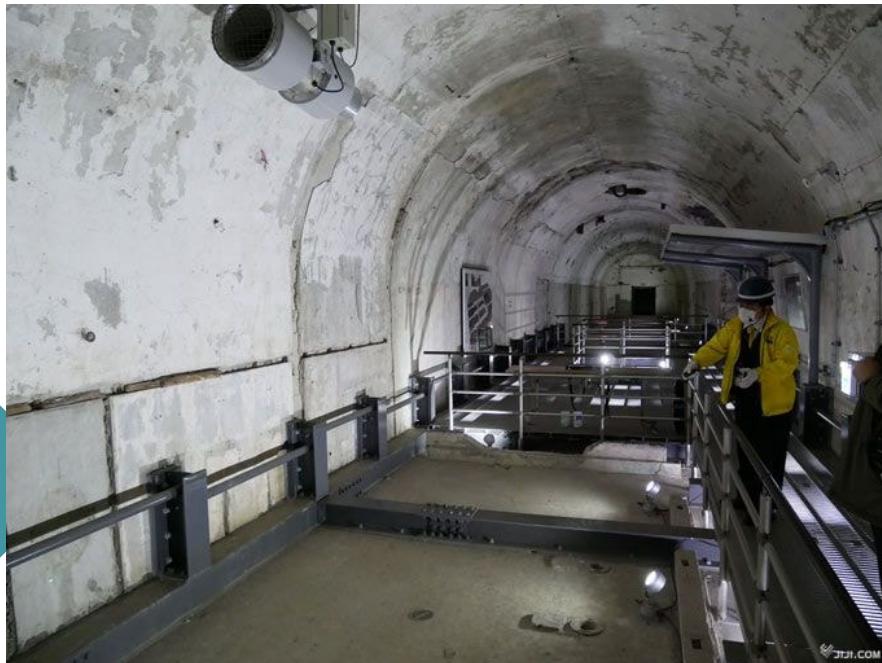
- 評価やその基礎となる情報を収集するためには一定のコストが必要となる
 - 「評価疲れ」の発生
- それでもPDCA分析による改善などメリットにつながるなら受容すべきだが……

PDCAサイクルの前提



- 「現在地」がわかっている
- 一般的な事業では当然の前提
- 例外も
 - 現状把握への障害
 - 計画立案への障害

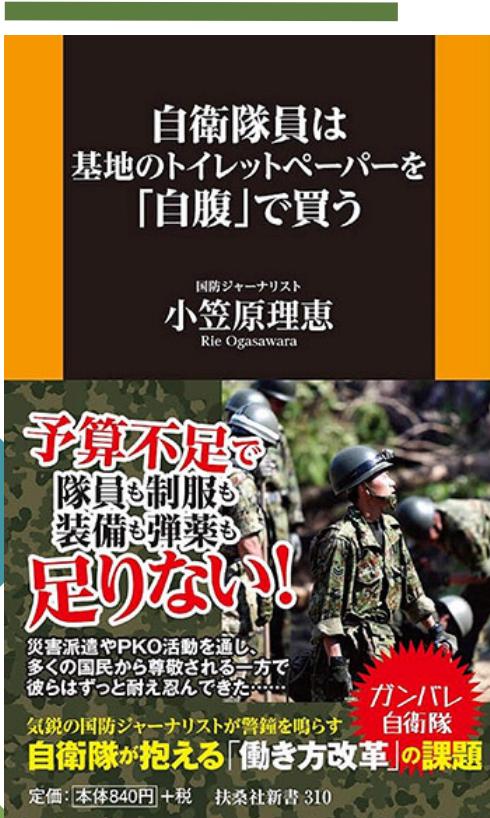
現状把握への障害



- 旧軍施設の残存
- 意図的な記録の破壊？
- 連合軍による接收→返還
 - 記録の断絶？

<https://www.jiji.com/jc/v8?id=20230224seikaiweb>

計画立案への障害



- 慢性的な予算不足
 - 壊れてから直す → 計画性の欠如
 - アクティビティが特定されていない
 - アウトカム設定の適切さ、以前の問題

改善策としての「支援」

- できていない、ことが自己責任だとは限らない
- 問題の把握 → 改善への契機
 - 基盤構築を支援していく必要